

文化財の概要

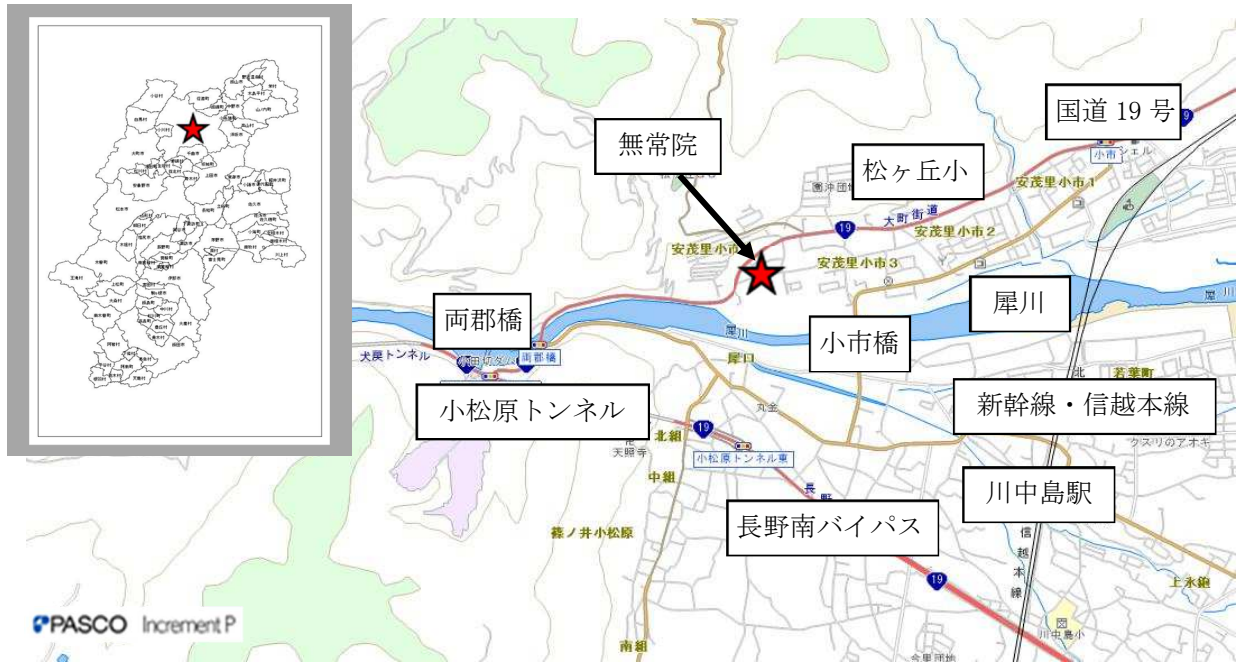
○長野県宝に指定する文化財

名称、員数、所在地	所有者	文化財の概要	
<p>どうぞう あみだ によらい 銅造 阿弥陀 如来 および両脇侍立像 3 軀 長野市</p>	<p>宗教法人 むじょういん 無常院</p>	 <p>長野市教育委員会提供</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 県下に現存する善光寺式阿弥陀三尊像の中で鎌倉時代中期に遡る古例である。 ○ 中尊の着衣形式と脇侍の宝冠形式（八角筒形）を神奈川県<small>の</small>寶生寺形としながら、脇侍の天衣形式を山梨県<small>の</small>善光寺形とするなど、「善光寺式」の系統のなかでも特徴的な姿を示しており稀少である。 ○ 善光寺衆徒七院とされた無常院伝来であることから、信濃の有力御家人等の関与が推察され、貴重である。
<p>もくぞう あみだ によらい 木造 阿弥陀 如来 立像 1 軀 飯山市</p>	<p>宗教法人 ちゅうおんじ 忠恩寺</p>		<ul style="list-style-type: none"> ○ 全国的にも数少ない鎌倉時代後期に遡る阿弥陀如来立像である。 ○ 唇を開き、上歯4本を水晶製の玉歯とする、齒吹阿弥陀立像（仏が微笑をもらし、口から無数の光を出す姿を具現したもの）の好例である。 ○ 一般的な「安阿弥様」とは異なり、次の南北朝時代の慶派仏師の作風に連なる特色を示す点で、美術史的に貴重である。

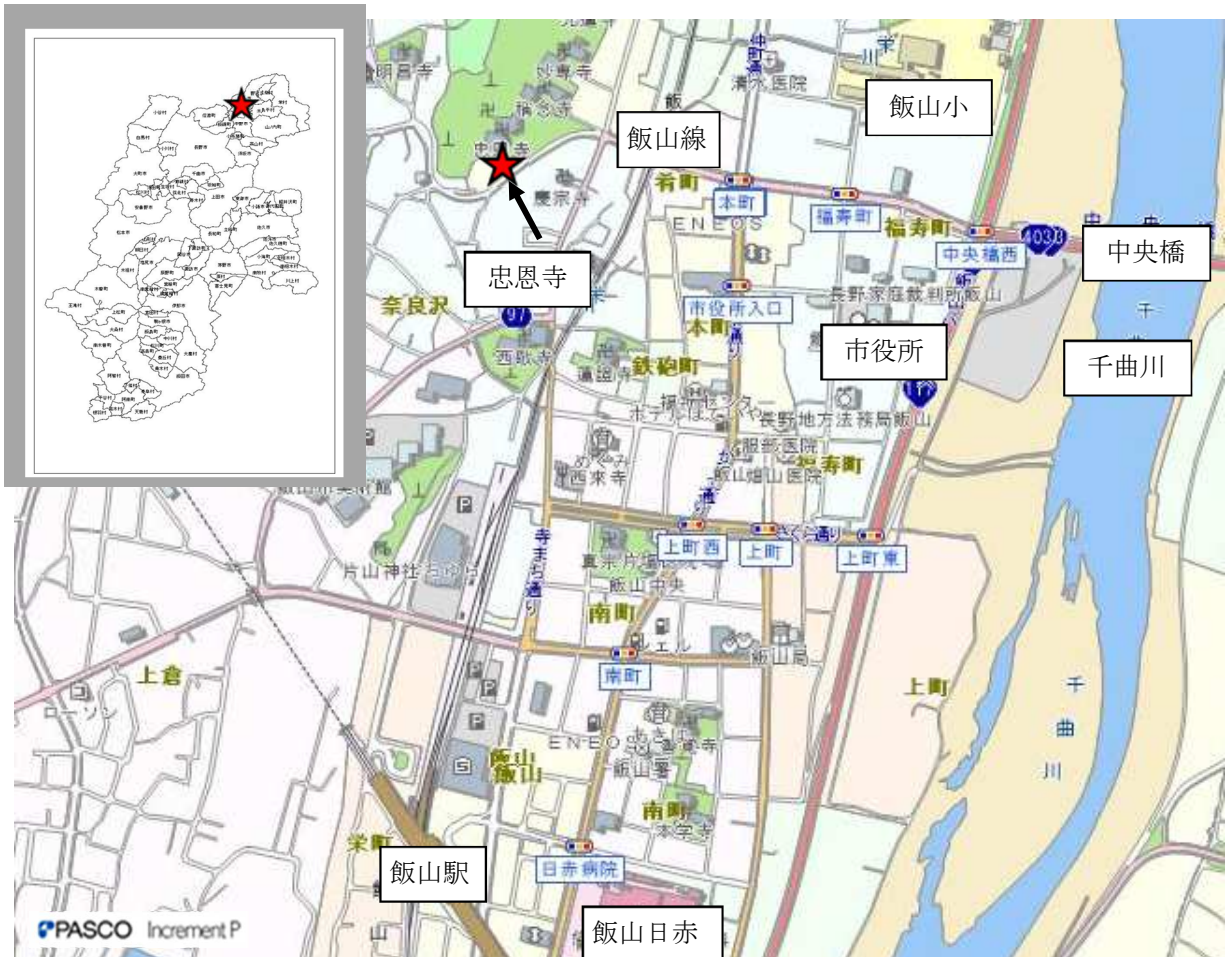
○長野県無形民俗文化財に指定する文化財

名称、所在地	保存団体	文化財の概要
<p>すぎかぎおんさい 須坂祇園祭</p> <p>須坂市</p>	<p>しばみやすみさかじんじゃ 芝宮墨坂神社 うじこそうだいかい 氏子総代会</p>	<div data-bbox="662 347 1117 638" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="662 683 1117 1120" data-label="Image"> </div> <p>○ 宝暦五年（1755）には笠鉾、屋台が曳き廻されており、文政十二年（1829）には現在に近い形で行なわれていた祭り。</p> <p>○ 京都市・八坂神社系の系譜を引きつつも、笠鉾等において独自の展開を遂げたものであり、貴重である。</p> <p>○ 昼の「天王下ろし」、夜の「天王上げ」といった祭りの構成に特徴を見出すことができるとともに、周辺地域の祭りに与えた影響も大きく、その意味でも評価に値する。</p>

〈位置図〉銅造阿弥陀如来及び両脇侍立像（長野市無常院）



〈位置図〉木造阿弥陀如来立像（飯山市忠恩寺）



〈位置図〉 須坂祇園祭 (須坂市)

